

第26回関西小学生ゴルフ選手権春季大会 決勝

【主催】スポーツニッポン新聞社

関西高等学校・中学校ゴルフ連盟

【後援】一般社団法人関西ゴルフ連盟

【協賛】住友ゴム工業株式会社

総合教育・生涯学習機関ECC

開催日 2026年2月8日(日)

開催コース ダンロップゴルフコース

<ローカルルール>

1. アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
2. 修理地は青杭または白線によってその縁を定める。
3. レッドペナルティーエリアは赤杭または赤線によってその縁を定める。杭と線が併用されている場合は、線がその縁を定める。
4. 第3番、15番、16番ホールでレッドペナルティーエリアの中に球があるか、見つかっていない球がそのペナルティーエリアに止まっていることが分かっている、または事実上確実である場合、プレーヤーには次の選択肢があり、それぞれ1罰打:
 - ・規則17.1に基づき救済を受ける。または、
 - ・追加の選択肢として、元の球か別の球をドロップゾーンにドロップする。このドロップゾーンは規則14.3に基づく救済エリアである。
5. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
6. 電磁誘導カート用の2本のレールは、その2本のレールの全幅をもって1つのカート道路とみなす。球がこのカート道路の上に止まっているか、またはスタンスがかかる場合はホールに近づかず、ニヤレストポイントから1クラブルーン以内に無罰でドロップしなければならない。
7. 防球ネットからの救済を受ける場合は、その障害物の上を越えたり、中や下を通すことなく、完全な救済のニヤレストポイントを決定しなければならない。<ローカルルールの違反の罰>一般の罰(2罰打)。
8. 規則5.5は次のように修正される:2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。
 - ・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。
 - ・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。<ローカルルールの違反の罰>一般の罰(2罰打)。
9. 危険な状況のためのプレーの中止は、1回の長いサイレンとカートナビによって伝えられる。その他すべての中止は、短いサイレンの繰り返しとカートナビにより伝えられる。どちらの場合も、プレーの再開は1回の長いサイレンとカートナビによって伝えられる(規則5.7b参照)。
10. プレーヤーの球が張芝の継ぎ目にあるか、触れている場合、あるいは継ぎ目がプレーヤーの意図するスイング区域の障害となっている場合:
 - (a)ジェネラルエリアの球。そのプレーヤーは規則16.1bに基づいて救済を受けることができる。
 - (b)パッティンググリーン上の球。そのプレーヤーは規則16.1dに基づいて救済を受けることができる。しかし、その継ぎ目がプレーヤーのスタンスにだけ障害となっている場合、障害は存在しない。救済を受けるときは、張芝の区域の中のすべての継ぎ目は同じ継ぎ目として扱われる。そのことは、球をドロップした

後にどの継ぎ目であってもプレーヤーの障害となる場合、たとえその球が基点から1クラブレングス以内にある場合でも、そのプレーヤーは規則14.3c(2)に基づいて要求されるように処置しなければならないことを意味している。

ローカルルールに違反して誤所から球をプレーした事に対する罰：規則14.7aに基づく一般の罰。

< 注意 事 項 >

1. ローカルルールや競技の条件に追加・変更がある場合は、クラブハウス所定の位置に掲示する。
2. 受付
 - ・各自スタート時間の30分前までに、クラブハウス内で大会受付とコースフロント受付を済ませること。スタート15分前にはティーイングエリア周辺に待機すること。プレー終了後は自動精算機にてプレー費の精算を行うこと。※大会受付は練習前に必ずプレーヤー本人が済ませること。
3. 練習

打球練習場の使用とパター練習のみ可能(アプローチ練習・バンカー練習禁止)。
4. スコアカード
 - ・スタート時に大会指定のものをマーカーに渡す。指定されたマーカーは各ホールごとにカードに記名されたプレーヤーのスコアを記入し、ホールアウト後にプレーヤーに渡すこと。競技に関することやスコア、その他で疑問がある場合は、スコアカード提出前にプレーヤー本人が競技委員会に報告すること。

※提出前にスコア誤記(過少申告)がないか、本人署名、マーカー署名があるかを十分に確認すること
5. ゴルフカート
 - ・プレーヤーの使用、乗車を認める。運転、操作は禁止する。運転はスコアラーが行う。
6. スコアラー
 - ・各組1名のスコアラーが同行する。プレーヤーは各ホールごとにスコアラーとマーカーに自分のスコアを伝えること。
7. 使用ティー・グリーン：ゴールドマーク。Bグリーン(予定)。
8. 距離測定器

使用を認めるが、2点間の距離のみ。高低差の測定はできないので注意すること。
9. その他
 - ・グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
 - ・目土袋、スコップは常に携帯し、目土を実行すること。
 - ・ラウンド中に体調が悪くなった場合は無理をせず、スコアラーに伝えてプレーをやめること。
 - ・風呂の使用は原則として禁止する。
 - ・競技委員会の決定に対するクレーム、抗議は認めない。
 - ・大会当日は貸し切りではない為、ティーマーカー、プレーイング4の特設ティーが設置してあるが、本競技には適用しない。プレーの妨げになる時は動かせる障害物とする。

競技委員長